

市税や保険料の納め忘れはありませんか

市では、平成26年11月から1月までの3カ月間を「滞納整理強化期間」とし、税金などの未納がある方に対して、納税催告書を送付するなど納税の働き掛けを強化してきました。
納め忘れがないかも一度確認し、納期限が過ぎている場合は、早急に納めてください。

納期限を過ぎても納付がない場合

納期限内に納付した方との公平性を保つため、延滞金が加算され、さらには法律に基づき差し押えなどの滞納処分を受けることになります。

病気などで納付が困難な方

やむを得ない特別な事情により納付が困難な方は、早めに納税相談をしてください。また、市役所の通常業務時間内に来庁できない方は、次のとおり納税相談窓口を開設していますので、ご利用ください。
休日：毎週日曜日の午前8時30分～正午(年末年始を除く)
夜間：毎週火曜日の午後5時15分～7時(祝日を除く)
場所：収納課

口座振替をご利用ください

納付には、安心・確実・便利な口座振替をぜひご

利用ください。市内金融機関または市役所で申し込みができます。申し込みの際は、通帳と通帳届け出印をお持ちください。

現在、「彩の国口座振替お申込みキャンペーン」を実施中です。この機会に申し込みをして、すてきな埼玉グッズを当てましょう。詳細は市ホームページをご覧ください。

コンビニで納付できます

市税はコンビニエンスストアで納付できます。休日・夜間、時間を問わずに納付できますので、ぜひご利用ください。
なお、納期限を過ぎた納付書など、納付できない場合がありますのでご注意ください。

電話での納付確認を実施中

市税の未納がある方に対して、行田市納税コールセンターから電話での納付の確認と納付の呼び掛けを行っています。
▶問い合わせ 同課収納担当(内線236・237)

技能五輪全国大会の入賞者を紹介します

平成26年11月28日～12月1日にかけて、第52回技能五輪全国大会および第35回全国障害者技能競技大会が開催されました。

全国から技能者が集い、それぞれの分野の技術力を競うこの大会で、次の9人の方が優秀な成績を収め表彰を受けました。

なお、金賞を受賞した柳井さんは、今年の8月にブラジル・サンパウロで行われる「第43回技能五輪国際大会」への出場が決定しました。柳井さんには、世界を目指して大会へ臨んでいただくとともに、日本のものづくり技術の素晴らしさを世界に発信してくれることを期待します。

第52回技能五輪大会受賞者

賞	職種名	氏名	所属
金賞	フラワー装飾	柳井 怜子	テクノ・ホルティ園芸専門学校
銀賞	家具	志水 元紀	ものづくり大学
銀賞	フラワー装飾	小松原 知華	テクノ・ホルティ園芸専門学校
銀賞	とび	井上 翠	ものづくり大学
銅賞	家具	片山 聡美	ものづくり大学
銅賞	家具	山村 薫	ものづくり大学
敢闘賞	左官	寺田 尚樹	ものづくり大学
敢闘賞	フラワー装飾	佐藤 楓	テクノ・ホルティ園芸専門学校
左官職種競技委員特別賞		中野 綾希	ものづくり大学



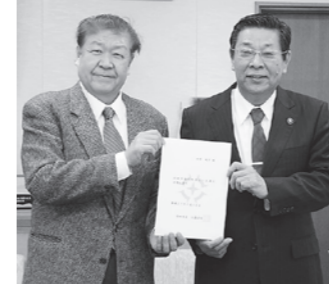
技能五輪全国大会で金賞を受賞した柳井怜子さん

▶問い合わせ 商工観光課商工振興担当(内線383)

田中利幸さんが 行田市古代米カレー大使に

1月16日、さきたま古墳・行田古代米カレーの会会長の田中利幸さんが行田市古代米カレー大使に委嘱されました。

行田市古代米カレーとは、行田産の古代米が入ったご飯を前方後円墳の形に盛り付けたカレーのこと。田中さんはこのカレーの仕掛け人として、これまで市内のレストランや喫茶店などに足を運び、古代米カレーの提供を呼び掛けるなどの活動を行ってきました。今では、17店舗が古代米カレーを扱うまでに。工藤市長から委嘱状を渡された田中さんは「このカレーをさらに広め、まちの活性化につなげていきたい」と今後の活動に対する意気込みを語りました。



▶問い合わせ 商工観光課観光担当(内線374)

行田特別支援学校より手作りのベンチが寄贈されました

2月5日、行田特別支援学校高等部の皆さんが教育文化センターと郷土博物館に、手作りのベンチを寄贈しました。

同校では、卒業後の就労に向けて社会性やマナー、技術を習得するために週2回作業学習を実施しています。今回寄贈されたベンチは、6つある作業学習班の1つである木工班の生徒が作成したものです。

寄贈されたベンチは、それぞれの施設に設置されています。このベンチに座って一休みしながら、木の温もりを感じてみてはいかがでしょうか。



▶問い合わせ 中央公民館☎556-2649

「市長への手紙」④5

このコーナーは、手紙や電子メールなどにより、市長へご意見・ご提言などをいただいたものの中から、その一部を紹介するものです。なお、原則として、回答を希望するものを紹介しています。
▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当(内線318)

意見

現役を卒業した中高年の皆さんのスキルやノウハウなどを活用・登録し、ボランティア活動を展開してはどうか。

回答

市では、豊かな知識や優れた技能などを有する方に「生涯学習ボランティア」として登録・協力していただき、市民の皆さんに知識・経験・技能などを還元する「行田市生涯学習ボランティア人材情報バンク」を平成23年に創設しました。現在、生涯学習ボランティアとして登録している方は、15人・14団体ですが、さらに多くの方に生涯学習ボランティアへの登録を呼び掛けていきます。

今後も、市民の皆さんの活動や活躍の場を提供するとともに、生涯学習のさらなる充実に努めていきます。



意見

人口減少が問題となっているが、人口減少は悪いことなのか。また、人口を増やしないと市は発展できないのか。

回答

本市の人口は平成14年度以降減少に転じ、ここ数年の減少数は年間600人となっています。特に、若い子育て世代の転出が目立っており、このような状況が続くと、市民生活の活力低下を招き地域経済に大きな影響を及ぼすなど、まちの存続に関わる深刻な問題となります。また、生産活動や個人消費が縮小することによる地域経済の衰退や地域コミュニティの喪失、税収減による道路・教育・文化施設などの社会資本整備の縮小など多岐にわたり影響を及ぼすことが懸念されます。

市では、将来にわたり住民福祉を増進し、地域の活力を維持するため、特に若い世代の人口減少を抑制することを重要政策に位置付け、定住促進策を推進しています。

意見

総合公園テニスコートを利用しているが、人口芝の砂の量が少ない。量が少ないと転倒してしまうので、対応してもらいたい。

回答

総合公園庭球場は、平成25年4月に砂入り人工芝コートに全面改修しました。
総合公園庭球場をはじめ園内の体育施設は、(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団が維持管理していますので、同財団に確認したところ、定期的に砂を補充していることをごぞいしました。砂入り人工芝のコートは、ベースライン付近の砂が減ることが多く、風の影響によっても少なくなる場合があります。しかし、砂の量が少なくなると転倒する恐れがあり、負傷にもつながります。このことから、安心・安全にそして快適に利用していただけるよう、テニスコートの維持管理をさらに徹底します。